

# 20年間続けてきた 軽便鉄道博物館の運営

令和6年8月

北勢線とまち育みを考える会

# 軽便鉄道博物館位置図



西桑名方

三岐鉄道北勢線阿下喜駅  
駅舎の東線路南側

# 博物館開催日

- 毎月2回

第1日曜日と第3日曜日

※1月に限り第2日曜日と第3日曜日になります

- 開催時間

10時から16時まで

## 現在のおもな展示内容

- 軽便鉄道の歴史や北勢線に関する資料の展示
- 北勢線を走っていたモニ226号電車の現車保存展示
- 名松線家城駅にあった腕木式信号機
- 再構築した阿下喜駅にあった軽便鉄道転車台
- 15インチ(381mm)ゲージのミニ北勢線アトラクション  
ミニ電車、軌道自転車

軽便鉄道博物館のはじまりは  
北勢線90周年イベントから

## ASITAの結成

「ASITA」は、桑名と阿下喜で北勢線存続運動を展開してきた2つの市民団体、「北勢軽便鉄道をよみがえらせる会」と「阿下喜駅を残す会」が、前年に三岐鉄道に移管された北勢線が開通90周年を迎えるのに合わせて、沿線の市町を活性化する目的で、合体して結成されました。

## 軽便鉄道博物館の開設

「ASITA」としての活動の第一歩は北勢線開通90周年イベントにあわせて、「まちかど博物館」としての「軽便鉄道博物館」を開設することでした。

この博物館を通じて、軽便鉄道がこれまで果たしてきた歴史的価値を広く知らしめるとともに、現在も現役である軽便鉄道北勢線の価値を地域の人々に理解してもらって、地域を活性化しようとするものです。

下工并慶号

## 90周年記念事業の目玉は下工弁慶号

北勢線開通90周年の記念イベントを盛り立てるためには目玉となるものが欲しかった。いろいろ探し求めた結果、山口県下松市が所有している北勢線と同じ762mmのSL、通称「下工弁慶号」を探し当てました。1907年石川島工業製で山口県下松工業高校で保存されてきたものです。

1981年には下松工業高校の創立60周年の記念事業で走行可能な状態に修繕され、その後下松市に移管され保存されてきたものです。

この車両を下松市のご厚意により、今回の記念行事の目玉として北勢線事業運営協議会の名義で借用できることとなりました。

# 下工弁慶号をお借りする契約調印式



## 大切な借りものを安全に保管するために

ASITAが北勢線の利用促進を目的に運営管理する事となった『下工弁慶号』。貴重な産業遺産をお借りするのですから、安全に保管する必要があります。そのため機関車を保管するための倉庫を建設することとなりました。

# まずは土台作りから



# 立派な機関車庫になりました



## よりリアルにするため本物を移設

鉄道には信号機・・・

鉄道のリアルさの再現には信号機があると良いよね。  
ということで、県内のJRローカル線で少し前まで現役で働いていた腕木式信号機を譲り受けることになりました。本物の信号機移設で、リアルな鉄道の世界に近づきました。

## 貴重な鉄道遺産 腕木式信号機



当博物館に移設した腕木式信号機は、2004(平成16)年1月26日まで、JR名松線家城駅で使用されていたものです。昔はどこにでもあった腕木式信号機ですが、近代化、機械化が進むにつれて徐々に姿を消し、JR東海管内では最後まで残っていたものです。

安全な列車の運行のため長年活躍してきたこの腕木式信号機を、JR東海様の御好意により軽便鉄道博物館のためにお譲りいただきました。

# 腕木式信号機が設置できました



## 『下工弁慶号』がやってきた

北勢線90周年イベントの主役である『下工弁慶号』は、4月2日に阿下喜にやってきました。90周年イベントでは『下工弁慶号』のお披露目式典も行われました。

# 下工弁慶号到着

2004.4.2



# 北勢線90周年記念イベント



## 試行錯誤をくりかえしての修復工事です

北勢線90周年でお披露目された『下工弁慶号』は、蒸気機関車として運転できるように修復工事に入りました。

初めての蒸気機関車で、試行錯誤を繰り返しながら、ひとつひとつ丁寧に復旧を進めました。

2年近い歳月をかけてようやく動く蒸気機関車として動かせる状態にまで復旧しました。三重労働局によるボイラーテストにも合格し、ようやくお披露目をできるようになりました。

# 下工弁慶号本気で修復工事



# 下工弁慶号お披露目式、公開運転



## 本物の鉄道らしく転車台も復元

かつて、製材所に木材を運び込むために活躍していた転車台が阿下喜駅の北側に埋もれていたという情報を得て、これを掘り起こして、下工弁慶号の方向転換用の転車台として復元することにしました。

阿下喜駅構内に今も残る知る人ぞ知る、その通の人たちにとっては比較的有名な魔境です。

この転車台の復旧には三岐鉄道さんに金銭面でも作業面でも一肌脱いでいただきました。

# 地中に埋まっていた転車台を掘り出して



# 移設先の転車台基礎工事



# レンガを積んで転車台再建



# 軌道を敷設して鉄道らしくなってきました



軌道敷設には、本職の軌道工さんにお世話になりました。

# 転車台完成 下工弁慶号を載せて動作確認



# 北勢線の半分のゲージのミニ鉄道を敷設



ミニ鉄道といっても  
本物志向です  
本物のレールやまくらぎを  
入れています

# 機関車庫も含めてミニ北勢線の線路敷設です



# 転車台の外側を回るルートに延長しました



下工弁慶号と  
お別れする日がやってきました

## いよいよ下松に帰る日がやってきました

動く蒸気機関車としてお披露目してから約1年。

公開運転で多くの人に『下工弁慶号』の雄姿を見ていただき、北勢線沿線の地域振興に一役買っていたいただきましたが、お役目を果たしてふるさと下松に帰る日がいよいよやってきました。名残惜しいところではありますが、阿下喜にやってきてからちょうど3年でお別れということになりました。

その後『下工弁慶号』は、江戸東京博物館の大鉄道博覧会で、100年前の動く国産蒸気機関車として展示されました。

# 下工弁慶号 下松へ返却

2007.4.2



下工弁慶号が帰った後は  
北勢線を走っていた電車がやってきた

## SLの後釜は北勢線を走っていた名車

下工弁慶号が去った後博物館にやってきたのは、北勢線でかつて活躍していたモニ226という電車。

1983年の引退後四日市市の四日市スポーツランドで展示されていましたが、北勢線活性化のためにと、いなべ市が譲り受け、ASITAが博物館で維持管理することになったものです。

# 下工弁慶号の後任は北勢線を走っていたモニ226



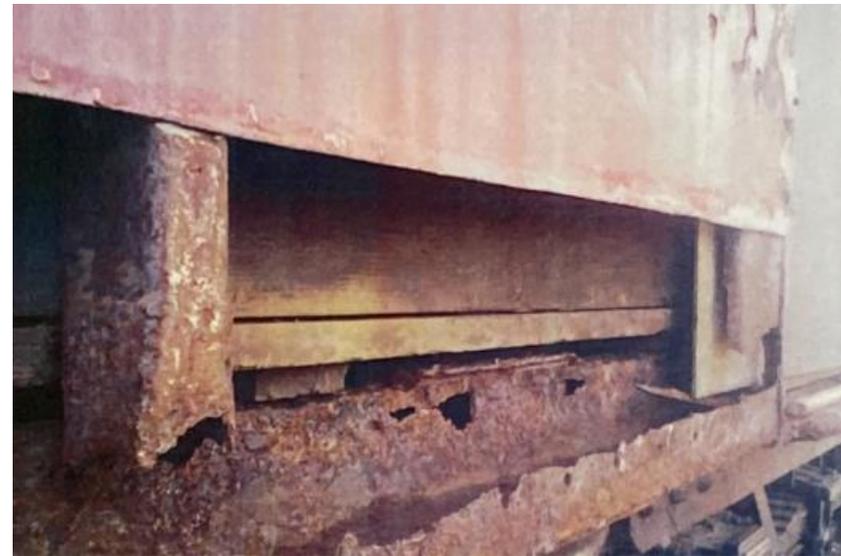
# 車両の傷みはかなり酷いようです



引退から25年。  
この間雨風に耐えてきた車両は、傷みが酷く、ぼろぼろの状態になっていました。



# 屋根の樋部やボディー下部は腐食が著しい



# 木製の屋根は作り直して防水シートを貼ります



# 傷んだ部品は手作りで作り直します



# ひとつひとつの部品をばらして修理しました



# 当時新聞に掲載された記事 2011.7.9

## 昭和6年に現役 電車お披露目



お披露目された修復した電車「いなべ市北勢町の阿下喜駅で」

【いなべ市】三岐鉄道 型の中で唯一現存する北勢線利用推進と地域活性化を目的とする「北勢線お披露目委員会」(成田正人会長)は、いなべ市阿下喜駅で、昭和6年に製造された木造電車「モニ220形226号」を披露した。この電車は、平成19年に当時所有していた西日中市からいなべ市に譲渡され、同会が修復作業を開始した。3年かけ、腐食した屋根を張り替えたほか、新たに鉄板を溶接動かせたというパンタグラフも修復するなど、最後走っていた昭和五十八年当時の姿に戻った。今年一月ころまでに西暦や天井などの内装も修復し、公開する予定。

## いなべ・北勢線 電化80周年で修復

【いなべ市】三岐鉄道 型の中で唯一現存する北勢線利用推進と地域活性化を目的とする「北勢線お披露目委員会」(成田正人会長)は、いなべ市阿下喜駅で、昭和6年に製造された木造電車「モニ220形226号」を披露した。この電車は、平成19年に当時所有していた西日中市からいなべ市に譲渡され、同会が修復作業を開始した。3年かけ、腐食した屋根を張り替えたほか、新たに鉄板を溶接動かせたというパンタグラフも修復するなど、最後走っていた昭和五十八年当時の姿に戻った。今年一月ころまでに西暦や天井などの内装も修復し、公開する予定。

## 感無量…お帰りなさい



外装の修復が終わり、鉄道ファンらに披露されたモニ220形226号—いなべ市で

## 修復終えた80歳・モニ220型226号

かつて三岐北勢線三岐市の四日市スポーツランドに現存する「モニ220」の外装の修復作業が終わり、いなべ市北勢町の三岐鉄道阿下喜駅で、8日、披露式が行われた。三岐鉄道阿下喜駅ファンらに披露された。この電車は、平成19年に当時所有していた西日中市からいなべ市に譲渡され、同会が修復作業を開始した。3年かけ、腐食した屋根を張り替えたほか、新たに鉄板を溶接動かせたというパンタグラフも修復するなど、最後走っていた昭和五十八年当時の姿に戻った。今年一月ころまでに西暦や天井などの内装も修復し、公開する予定。

2011年(平成23年)7月9日(土曜日)



北勢線80周年で木造電車を披露 開通時の車両 3年かけ修復

北勢線の全線開通に八王子線が活躍後、廃り、車内を荒廃したり合わせて一九三〇(昭三)年になつて、後世に継承された。昭和六十年に製作された「モニ220形」八三三(昭三)年まで北勢線や四日市市内を走る内部・(ASTA)が修復された。多くの人の協力のおかげです。車内も修復し、26号を一目見よう。地元住民だけでなく、観光客からも多く集まりました。披露式は、いなべ市北勢町の市公共体育施設(阿下喜)で行われ、約五十人参加した。



## 懐かしの木造電車、修復披露

北勢線80周年で式典 桑名市といなべ市を結ぶ三岐鉄道北勢線の全線開通80周年を記念する式典が8日、いなべ市北勢町の阿下喜駅前などで開かれた。開通時に走っていた昭和6年の木造電車「モニ220形226号」が修復され、阿下喜駅前で披露された。北勢線は1914年に大山田(現西桑名)駅からの運行が始まり、31年7月8日に阿下喜駅まで開通した。226号はこの年に製造され、83年の廃車後は約25年間、四日市市のスポーツランドで展示されていた。3年前に「軽便鉄道博物館」(いなべ市北勢町)の安藤たみよ館長(49)やボランティア団体「北勢線お披露目委員会」(成田正人会長)らが「いなべ市が外装の修復作業を続けたい」と提案。いなべ市が外装の修復作業を続けたいと提案。いなべ市が外装の修復作業を続けたいと提案。いなべ市が外装の修復作業を続けたいと提案。

3年半の歳月をかけて進めてきた修復工事がようやく完成。お披露目することになりました。

軽便鉄道博物館開設20年  
現在の姿

軽便鉄道、北勢線に関する  
資料、コレクションの展示

# ASITA会員所蔵のコレクション展示が当館の出発点



ASITA会員のTT氏  
所蔵コレクションを  
機関庫で展示したのが  
今の博物館展示の出発点

# 現在の博物館展示室内



北勢線の歴史や  
軽便鉄道について、小学生でも  
分かるように平易に解説しています。  
また、北勢線の  
グッズを中心として、貴重な鉄道  
コレクションも多数展示されています。

軽便鉄道博物館開設20年  
現在の姿

子どもたちに大人気のミニ北勢線

# ミニ電車ホクさんと軌道自転車



軽便鉄道のゲージ762mmの半分の381mmゲージのミニ北勢線では、ミニ電車ホクさんと軌道自転車のアトラクションで遊ぶことができます。運賃は無料なので空いていれば何回でも乗れます。楽しみながら、鉄道にじかに触れることで愛着を持ってくれることを期待しています。

# 鉄道遺産の中を走るミニ電車ホクさん



ミニ電車は下工弁慶号のために復旧した転車台をぐるりと1周するルートを走っています。

JR名松線家城駅で使用されていた腕木式信号機は今でも健在です。ミニ電車の運行を優しく見守ってくれています。



軽便鉄道博物館開設20年  
現在の姿

モニ226号電車

# 現在の当博物館の顔 モニ226号

雪を被った藤原の山を  
背景にすると、ヨーロッパ  
アルプスの山岳鉄道みた  
いに見えませんか？



# 現在の当博物館の顔 モニ226号



モニ226号は当博物館の顔。

ここにやって来てはや13年。外見はそれなりに奇麗で良好な保存状態に見えますが、実はよく見ると内部はかなり腐食が進んできています。

## ASITAの活動のこだわり①

- 本物志向

博物館で展示するものについては、できる限り北勢線をはじめとして各地の軽便鉄道などの鉄道現場で実際に使用されていたものにこだわって、本物志向の博物館となるように努めています。

## ASITAの活動のこだわり②

- 丸投げ外注はしない

鉄道施設や鉄道車両の維持管理には専門知識や匠の技術が必要となります。そんな事象に対しては、元北勢線の保守に携わっていたメンバーが中心になって、各種技術を持った地域の専門業者や匠の職人の協力を得ながら、多少時間がかかっても極力自分たちの手で維持管理をしています。

## ASITAの活動のこだわり③

- 地域に愛される施設を目指して

地域の活性化を目的に始めた活動ですから、地域の人たちに愛されてこそ、活動が前に進みます。ということで、博物館といえども、待ちの姿勢ではなく攻めの姿勢で活動しています。展示しているアトラクションをもって出張展示をしたり、休館日でも地域の保育園、幼稚園、小学校等の社会見学のために臨時開館したり。そんな形で地域の活性化に努めてきました。

# 最近のトピックス じゃらんの紹介された記事



2024年4月号



# 最近のトピックス この夏取り組んだ作業

展示車両も全般検査  
オーバーホール  
修理をします



# 全面修復から13年 全般検査してオーバーホールです



# 木製の天井はかなり傷んでいます



天井の水回り部分は  
かなり木が腐ってきて  
います。  
樋は作り直します。

# 防水シートは新品に更新です



天井にはかなり水が  
回ってきています。  
天井の防水シートは全  
面的に更新です。



# 車内の木部や各種部品も更新が必要です



# 更新用部材の加工作業



# 機器は降ろして調整します

